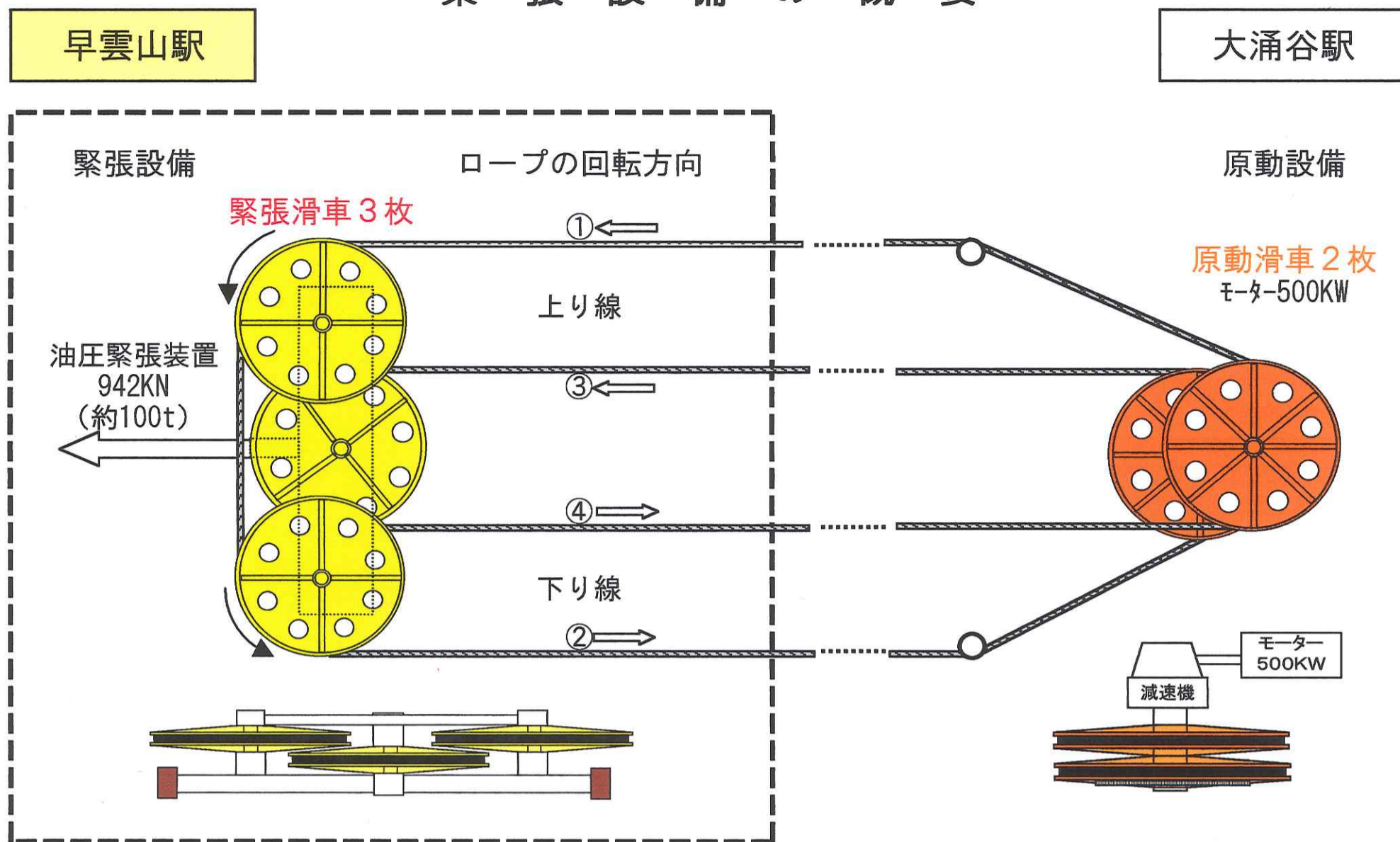


緊張設備の概要



このロープウェイは平成14年6月1日に日本で初めて開業した複式単線自動循環式フニテルと呼ばれる新しいロープウェイで、ゴンドラは2本のロープで支えられるため風に対する安定性が高いことが最大の特徴です。

当駅（早雲山駅）には緊張設備を備えており、直径4.4mの緊張滑車3枚を段差を付けてフレームに取り付けています。1本の油圧シリンダーに約100tの力を加えロープに張りを与え、安定を図っています。

早雲山駅から大涌谷駅間（約1,500m）は1本のロープ（直径48mm、長さ6,000m）で図のように結ばれています。

山頂の大涌谷駅には動力設備（モーター）を設け、原動滑車2枚を500KWのモーターで回転させることによってロープをまわしています。